

## 内山さん(横浜町支部)が新部長に ～女性部通常総会～

J A女性部の2018年度通常総会が3月7日、本店で行われました。女性部員200人出席のもと、活動報告と新年度の活動計画などを承認。役員改選では新部長に内山咲喜子さん(横浜町支部)を選任しました。

総会では、青森県家の光大会で最優秀賞を受賞し、2月に全国大会へ出場した山崎澄子さん(十和田支部)が、家の光を活用して仲間や家族の絆を深めたことを発表しました。また、家の光協会北海道東北普及文化局の平間聰局長が「JA女性組織の現状と今後の課題」をテーマに講演しました。

J A女性部は地区ごとに7支部あり、部員数546人。一緒に活動を楽しむ仲間を随時募集しています。お問い合わせは、本店(経済部)、支店まで。



▲内山新部長ら新役員のみなさん



▲全国大会に出場した発表者の山崎さんと、応援隊の女性部員(神奈川県、2/5~6)

## 彼岸向け団子人気

### ～味が評判 注文増～

当JAの産直「十和田やさい館」(東一番町の三本木SS近く)は3月17・18日の2日間、彼岸売出しを行い、花や団子を求める買い物客でにぎわいました。彼岸団子は24日までの約1週間で6千個を売り上げる人気でした。

やさい館では、ヨモギと白の2種類の団子を1個(100円)130円で通年販売。熟練の技で手作りするメンバーは「年々、注文が増えている。おいしさの評判が広がっているのも要因の一つだと思う。心を込めてつくりたい」と話していました。



▲彼岸団子を手作りするメンバー

## 食育ソムリエに認定 ～組織活動、事業に生かす～

女性部上北支部フレッシュミズの林綾子さん、市川裕美さん、蛇名祥子さんの3人が食育ソムリエ認定の資格取得、3月の支部総会で報告しました。3人の食育ソムリエは「野菜の魅力を広く知ってもらうため、レシピの作成や食育活動を頑張りたい」と張り切っています。

J A共済の貢献活動の一環である地域・農業活性化にかかる助成事業を活用し、日本協同組合連携機構(JCA)が実施する養成講座を受講しました。2018年度の助成事業では、その他JA職員3人、女性部十和田湖支部の2人が認定を取得しています。



▲食育ソムリエ認定者の市川さん、林さん、蛇名さん(写真左から)

## 野立て看板、主張発表で功績 ～青年部通常総会～

J A青年部は3月3日、本店で2018年度通常総会を開き、会員30人出席のもと、部員の育成に向けた取り組みなどを盛り込んだ事業報告と新年度計画などが承認されました。役員改選では部長に佐々木祐輔さん(上北支部)を再選しました。

事業総括では、藤坂支部藤坂分会が「JA青年部組織手づくり看板全国コンクール」でJA全中賞を受賞したことや、青森県JA青年の主張発表で、藤坂支部藤坂分会の成田正大さんが「農と休日と、それから私」をテーマに発表し最優秀賞を受賞して東北・北海道ブロック大会へ出場したことを報告。また、好評だった婚活イベントも継続事業として取り組むことを確認しました。



## 加賀さんら表彰 ～肥育牛部会総会～

J A肥育牛部会は2月27日、会員ら20人出席のもと本店で通常総会を開きました。牛の血液検査による肥育技術の改善を盛り込んだ新年度計画などを承認。優良生産者として、最高販売額の加賀訓さん(十和田湖)ら4人を表彰しました。

あいさつで、氣田重由部会長は「子牛価格の高騰で依然として厳しい経営にあるが、上物率がアップし、採血勉強会の成果がでている」と話しました。

ほかの優良生産者は次の通り

- ◇最高単価(1kg・3,101円)／小笠原治(大深内)
- ◇上物率(100%)／氣田重由(十和田湖)

折田勝男(十和田湖)一敬称略



▲優良生産者表彰を受けた折田さん、氣田さん、小笠原さん、加賀さん(写真左から)



▲JA全中賞に入賞の看板を制作した藤坂分会のメンバー



▲竹ヶ原組合長にJA全中賞を報告する工藤康広藤坂支部長(写真左)と附田健藤坂副支部長(写真中央)

## 生産拡大 所得増大 目指せ上物率100% ～JA肥育牛部会 枝肉研究会褒章授与式～

J A肥育牛部会は3月28日、本店で枝肉研究会の褒章授与式を行い、漆畠善文さん(十和田湖)の出品牛が格付けA5等級、霜降り度合を示すBMS11で最優秀賞を受賞しました。

セリは2月下旬、東京都中央卸売市場の食肉市場で実施。今回はJA畜産後継者の会の会員が育てた30カ月齢の出品牛24頭(去勢17頭、雌7頭)が上場。4等級以上の上物率は92%、平均単価は前年比63円高の2,316円でした。

セリ当日はJA畜産後継者の会のメンバーら7人が同市場へ足を運び、掛け声でセリ場を盛り上げたほか、肉質アップに向け購買者との情報交換会も行いました。

そのほかの成績は次の通り

- |                          |
|--------------------------|
| 優秀賞／加賀拓磨さん(十和田湖)A5・BMS10 |
| 氣田智弥さん(十和田湖)A5・BMS9      |
| 優良賞／小笠原慶介さん(大深内)         |
| 2頭A5・BMS10、A4・BMS7       |
| 加賀拓磨さん(十和田湖)A5・BMS10     |



▲最優秀賞受賞の漆畠さん





組合員のみなさまに、JA常勤役員を身近に感じてもらうコーナーです!

## 「自己改革の主役となる女性農業者」

先日、当農協支店での女性部分会50名程の会議に呼ばれた。1時間話をしてくれと依頼された内容は「十和田おいらせ農協における自己改革の取り組み」であった。

女性部からの依頼は、①何故に自己改革しなければならないのか、②当農協は具体的にどんな自己改革をしているのか、を分かりやすく説明してほしいとのこと。

今から5年ほど前2014年5月、安倍内閣の諮問機関である規制改革会議が提言した、①農協中央会制度の廃止、②全農の株式会社化、③信用事業の代理店化、④准組合員の利用制限など、政府による農協解体への動きがあったことなどの背景を説明。

そして当農協の自己改革は、①JA十和田おいらせブランドの確立、②産地拡大対策事業の継続的実施、③年間2億5千万円を超える営農支援事業の継続的実施、④営農支援としての共同利用施設の新規取得、⑤農業経営規模拡大支援としてのJA受託作業の充実、⑥主要首都圏市場への定期市場調査、⑦農業担い手育成塾と農業マネジメントスクールの開催、⑧農業資材コスト低減をすすめるJA物流改革、⑨JA事業取引と農業簿記連動による青色申告・農業経営分析システムの導入、⑩職員次世代リーダー育成塾など、25プラス・アルファの取り組みをしていることを伝えた。

さらに女性の声を農協事業に反映させるために、①女性農業者の農協正組合員加入促進、②女性の農協総代確保、③女性の農協役員確保をすすめていることを説明した。女性農業者が積極的に農協経営に参画し農協事業に女性の声を反映させることは消費者が求める農業、地域が求める農協につながっていく取り組みでもある。

代表理事専務 小林 光浩

## 編集者の日和日記

5月1日、平成から「令和(れいわ)」へと元号が変わる。新しい時代の幕開け。安倍首相は「…明日への希望とともに、それぞれが大きな花を咲かせる日本でありたい」と願いを込めた。

当JAは合併から10年の節目の年になる。4月には、新たな仲間も加わった。新芽が花を咲かすことができるよう、先輩職員として農業やJAの魅力を伝えていきたい。T

## 議案

### 理事会だより(第12回:3月27日)

- ▶総代選挙細則の設定を承認する(総代候補者の資格)
- ▶定款附属書総代選挙規程の一部変更を承認する
- ▶定款附属書役員選任規程の一部変更を承認する
- ▶役員選任細則の一部変更を承認する
- ▶2020年度新採用職員の募集を承認する(P18参照)
- ▶2019年度畜産経営特別支援対策事業の実施を承認する

#### 助成内容

- 対象者 預託家畜により素牛導入する肥育農家
  - 助成内容 預託家畜金利 年1.2%を全額助成する
  - 対象牛 2019年度に導入する肥育預託素牛
  - 助成総額 4,700,000円(通算2年分)
- ▶2019年度横浜町農業関連補助事業の実施を承認する
  - ▶米穀関連施設に係る利用料金の変更を承認する
- 理由:人件費・労務費の増や電気料金を含む光熱費等の上昇によるため

#### 変更料金 (1俵当たり:円/税別)

	米	小麦	そば	大豆			
変更後	現行	変更後	現行	変更後	現行	変更後	現行
乾燥料	880	800	864	780	580	500	580
調製料	770	700	444	378	910	840	910

一ほか

#### 報告事項

- ▶地区別懇談会の主なる質問事項について(P6・7参照)

### 監事會だより(第12回) 理事会終了後、本店2階 常勤監事室・監査課で実施

#### 議案第1号

- ▶会計監査人の報酬の同意について

## 金融部

### J Aバンク全国大会 JA十和田おいらせが優績JAに

J Aバンク全国大会が2月21日、都内のホテルで行われ、JA十和田おいらせが優績JA、中川原卓雄信用事業担当専任常務が功労者として表彰を受けました。各県域で優れた業績をあげたJAと、JA信用事業の発展に貢献した功労者に贈られるもの。18回目を迎える今大会では45JA、78人を表彰しました。



優績JAの賞状を手にする竹ヶ原幸光組合長(写真中央)と功労者表彰を受けた中川原信用事業担当専任常務(写真右)

## 2020年度 職員の募集について

### 1. 採用人員

(1)一般職員 (2)営農指導員 (3)畜産指導員

20人程度

### 2. 応募資格

- (1)高等学校・短期大学・専門学校・4年大学を卒業した人(2020年3月卒業見込者を含む)
  - (2)自動車運転免許取得した人、又は採用後6ヶ月以内に取得する見込みの人
  - (3)営農の専門教育課程を修業した人(見込者を含む)、または営農指導の実務経験を有する人
  - (4)畜産の専門教育課程を修業した人(見込者を含む)、または畜産指導の実務経験を有する人
- ※一般職員は、上記(1)、(2)を満たす人※ 営農指導員は、上記(1)、(2)、(3)を満たす人
- ※畜産指導員は、上記(1)、(2)、(4)を満たす人

### 3. 試験日・試験場所

一次試験(筆記試験)			二次試験(面接試験)	
試験日	場 所	願書受付	試験予定日	場 所
2019年5月29日(水)	青森県農協会館	2019年5月7日(火)~5月17日(金)	2019年6月14日(金)	当組合 本店
2019年7月26日(金)	青森県農協会館	2019年7月1日(月)~7月12日(金)	2019年8月9日(金)	当組合 本店
2019年9月27日(金)	青森県農協会館	2019年9月2日(月)~9月13日(金)	2019年10月11日(金)	当組合 本店

※一次試験はJA青森中央会主催による県内JA合同試験

### 4. 募集方法

機関誌「アグレッシュ」・当JAホームページに掲載するほか、県内大学・短大等や公共職業安定所へ求人案内いたします。

### 5. その他

高等学校新卒者(2020年3月卒業見込者)は9月実施の試験が対象となります。

初 任 給	大学卒:172,496円／短大・専門学校卒:157,578円／高校卒:146,980円
賞 与	夏期・冬期 等
勤 務 時 間	(4~10月)8:00~17:00／(11~3月)8:30~16:30
休 み	有給休暇、慶弔休暇、育児休暇、介護休暇 など
手 当	通勤手当、家族手当、住宅手当 など
勤 务 地	十和田市(大深内、藤坂、十和田湖、三本木)、おいらせ町(ももいし、下田)、東北町(上北)、七戸町(七戸)、横浜町、むつ市

※初任給は2019年4月1日現在、年齢により変動あり。

お問い合わせ先…本店総務部教育人事課まで Tel.0176-23-0311 <http://www.jatowada-o.or.jp/>

## 米 穀 畜産部

[当JA管内]

(金額:千円)

販売金額 種雄牛	雌			去勢			販売金額 頭数	雌			去勢			
	上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均		頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)	平均日齢 (日)	頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)
第1花国	16	1,256	680	26	1,192	848								
勝早桜5	6	824	743	14	1,409	923								
平安平	7	721	565	7	850	758								
美津照重	5	653	607	7	1,036	814								
安茂勝	3	867	677	7	1,052	718								
百合白清2	2	1,134	947	8	1,413	1,130								
計	39			69										

1種雄牛上場 上位6頭を記載/JA取り扱い分

※5種混合ワクチン及び、キャトルワインSHSの接種が上場条件。



(金額:千円)

5月市場開催日／2019年5月10日(金)